

森にふれ、森のたのしみを、 次世代へつなぐために～

若松 隆 (わかまつ たかし)
いしかり森林ボランティア「クマゲラ」代表

農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動を紹介するシリーズ。

今回は「わが村は美しくー北海道」運動第7回コンクールで奨励賞を受賞した団体、「いしかり森林ボランティア「クマゲラ」」代表の若松隆さんにお話を伺いました。

《スタートは森林づくりのボランティア活動》

クマゲラは、2003年に森林に係わる普及啓発などを目的に設立され、市民、行政、企業と連携し石狩市厚田区小谷「千年の森」や石狩市高岡「五の沢の森」をフィールドに市民レベルでもできる森林づくりのボランティア活動を行っています。

設立以来、季節ごとに枝打ちや間伐^{かんぼつ}などの手入れ、市民に対して苗木の里親を募集して植樹する活動、学校や市民を対象とした森林教室などを行っています。

活動は、雪解けの4月からスタートし冬になる前の11月ころまで続きます。その間、メンバーは、ほぼ毎週土曜日に40～50分かけて千年の森に出かけては森林の植樹や下草刈りの作業を行っています。植樹を重ねるごとに20ブロックから20周年を迎えた現在では29ブロック(4Ha)まで広がっています。



「春の森を歩こう」の様子



代表の若松さん(右)、副代表の羽田雅俊さん(左)

《森を知るきっかけづくり》

森林の普及啓発活動として、毎年、春と秋に市民へ向けた「春・秋の森を歩こう」、市内の緑苑台^{りょくえんたい}小学校の5年生を対象に「森林学習」を開催しています。

これは、千年の森を散策することで、普段、森へ行く機会も少なくなった市民や、子どもたちに自然を感じてもらい、森の楽しさを知るきっかけづくりになればと企画されています。「森を歩こう」のイベントでは春は山菜、秋はきのこなどが採れることもあるそうです。

《20年の活動を次世代へつなげる～》

2023年からは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になっていたイベントも再開しています。昨年の9月9日には、20周年記念事業として、市民と一緒に石狩市庁舎前(メモリアルパーク)に桜の苗木34本を植樹し、将来見事な桜並木になることを祈願。そのあと、千年の森へ移動し20年続けてきた森の仕事や、植樹し育樹してきた成果を紹介しました。その一画で3年前から自然を活かした市民や子どもたちが楽しめる憩^{いこ}いの広場を計画しています。

最後に「広場は20年前に植樹した最初の場所でもあり、周辺には、ナナカマド、コクワ、山ぶどう、ハルニレも存在し四季折々楽しませてくれる場所です。将来は昆虫、野鳥、猛禽類^{もうきん}も棲めるような環境の場所にして、そこを訪れた子どもたちや多くの人々に森に関心を持ってもらい、森で遊び楽しみ、素晴らしい自然の森を体験し、森に生きる動植物の生活環境や人間との関わりを理解してもらいたいです。そして、50年、100年先も次世代が楽しめる森になるように引き継いでいきたいです」と若松さんは語ってくれました。

「クマゲラ」ブログ <https://blog.canpan.info/kumagera/profile>

※当協会ホームページ、開発調査総合研究所・調査研究報告書から「わが村は美しくー北海道」運動第1～9回受賞団体の活動概要をまとめた冊子をご覧ください。